

中小企業の魅力発信事業

地域の中小企業・小規模事業者等による  
**教育貢献活動事例集**



平成29年5月

千葉県

## 中小企業の魅力発信事業とは

---

職場体験の受け入れなど、教育貢献活動を行っている企業や団体に取材を行い、教員向けに配信されているWEBニュース「県教委ニュース」に紹介記事を掲載することで、地域の中小企業・小規模事業者の魅力を教員や子どもたちに伝える事業です。学校、企業、地域社会が連携したキャリア教育を推進し、子どもたちが、早い時期から多様な職業に触れ、将来、自分の考えで職業を選択し、より自分らしい生き方を実現する助けとなることを目的としています。

平成28年度までに取材にご協力頂いた10件の取組事例を紹介いたします。職場体験学習等の受け入れ先や、内容を検討する際にご活用ください。

## この冊子を作ることになったきっかけ

千葉県では、県内企業の99.8%を占める中小企業が地域で果たしている役割の重要性を踏まえ、職員と中小企業経営者の方たちが膝を交えた意見交換を行う「地域勉強会」を県内各地で開催し、中小企業の生の声を政策に反映させています。

その地域勉強会の中で、中小企業の皆さまからこのような声がありました・・・

子どもの頃に多様な職業に触れることが、自分らしい生き方を実現するための助けになるのではないかと？

学生の目が大企業ばかりに向いている。中小企業の中にも魅力的な会社がいっぱいあることを知ってほしい。

子どもたちの教育の中で役に立つことがあれば協力したいけど、どうアプローチしたらよいらうか？

子どもたちが減って地域の活力が失われている。地域に愛着を持ってもらうことが大切。



こうした声を受けて、地域の中小企業力をキャリア教育に役立ててもらおうと

**この冊子が生まれました！**

※県教委ニュースで配信した記事をまとめたものです。

本件に関するお問い合わせ：千葉県商工労働部経済政策課政策室（043-223-2769）

## 事例集 目次

企業・団体名	取組内容	市町村名	P
ONE 勝浦企業組合	未利用魚「シイラ」を活用した給食メニューの開発	勝浦市	1
昭和プラスチック株式会社	プラスチック製品製造工場での職場体験受け入れ	柏市	2
横芝光町商工会青年部	ソーセージ加工技術の発展に尽力した大木市蔵の功績を伝える活動、ソーセージ作り体験教室の開催	横芝光町	3
作庭舎	造園の仕事に関する出張講演	八街市	4
有限会社中台製作所	みこし製造工場の見学受け入れ	市川市	5
株式会社アールワン・プロ フェッショナル、 若手経営者ネットワーク 「スマイルかまがや」	高校生の起業体験プログラムの企画・運営	鎌ヶ谷市	6
株式会社エヌ・アイ・エス	プロ野球選手等へのインタビュー体験教室、 新聞記者が指導する新聞づくり教室等の開催	白井市	7
南流山 金寿司	寿司店での職場体験受け入れ	流山市	8
富洋観光開発株式会社	バリ島の子どもたちと金谷の子どもたちの交流 イベントの開催	富津市	9
株式会社CMS	ホームページ作りの授業への協力	千葉市	10

## 地域で頑張る企業紹介 (VOL.1)

県商工労働部では、中小企業の魅力や地域における活動内容を教育現場に伝えていくため、本ニュースなどを活用して、地域に根付いた中小企業の取組などを随時、紹介しています。

第一弾となる今回は、熱血!!勝浦タンタンメン船団を運営する「ONE勝浦企業組合」の地域資源を活用した地域活性化に向けた取組を紹介します。

### 取組内容

#### ○美味の未利用魚「シイラ」を活用した新プロジェクト

ONE勝浦企業組合は、地域活性化に向け様々な活動を実施。今回、地域資源を活用した新たなプロジェクトとして、「シイラ」(ハワイ名:マヒマヒ)の商品開発・販売に着手!



『勝浦マヒマヒ』  
形は「怖い」けど、  
味は「優しい」魚!

#### 『マヒマヒ弁当』

シイラの照り焼きとハンバーグ



#### ○ご当地グルメで町おこし!

勝浦ではカツオにまじって漁獲されるが、ほとんど活用されていなかった「シイラ」。

地元の関係者(漁師、加工・販売業者)が一体となって、貴重な地元の海の産品「シイラ」の加工商品化に成功し、販売を開始。⇒今後は、マヒマヒメニューの朝市における看板商品化や、空き店舗を利用した販売、全国販売の展開等を図る。

#### ○学校給食を通じ、地域の資源を子どもたちへ!

地元食材を有効活用したシイラのメニューを地元の子供たちに伝えるため、勝浦市内全ての小中学校、保育園、幼稚園の給食で、「マヒマヒバターソーテー」を提供。

⇒毎月1回、違ったメニューを提供中!

※学校給食を通じた発信は、他市町村への展開も検討。



## 勝浦の魅力、「地域の良さ」を子どもたちに伝えたい!



#### ONE勝浦企業組合とは

勝浦をひとつに!もっと元気に!を合言葉に地域を盛り上げようとする様々な業種の中小企業者や中小店舗の経営者たちで構成。

昨年、「B-1 グランプリ」ゴールドグランプリを獲得した熱血!!勝浦タンタンメン船団。これまでの実績や経験を生かした次の展開として、未利用魚「シイラ」を活用した地域活性化に取り組む。

#### ◎先生方へ

取組内容の出張講演や、給食(マヒマヒメニュー)提供のご要望等がありましたら、お伺いしますので、是非、当組合にご連絡下さい!

(URL) <http://katsutan-sendan.com/>

## 地域で頑張る企業紹介 (VOL.2)

県商工労働部では、中小企業の魅力や地域における活動内容を教育現場に伝えていくため、本ニュースなどを活用して、地域に根付いた中小企業の取組などを随時、紹介しています。

第二弾となる今回は、障害者の方々や地元の小中学校の生徒などの職場体験の受入を積極的に行っている「昭和プラスチック㈱」を紹介します。

### 取組内容

#### ○「昭和プラスチック」が作るもの

私たちの生活に欠かせない身近なアイテム、『プラスチック』。  
多くのものがプラスチックを加工した容器やトレーの中に入って流通していますよね。

様々な製品をオーダーメイドで作る会社です！

例えば  
チョコレートの「流し型」



柏のゆるキャラ「カシワニくん」  
チョコレートの  
出来上がり！



#### ○障害者雇用のきっかけ、「職場体験受け入れ」

会社の貴重な戦力であるAさん。障害を持つ方ですが、採用のきっかけは、県中小企業家同友会における障害者雇用の勉強会を踏まえた、「職場体験の受け入れ」にありました。

#### ○それまでは・・・

職場体験を経験してもらい、採用してみるまでは「障害者には難しい仕事では」と思っていました。でも、いざ一緒に働いてみると目からうろこ！

#### ○今では！

「健常者との境なんてない！」今では、Aさんは、製品完成の最終段階を任せられるとともに、会社に欠かせないチームリーダーです！

※毎年、小・中学校、高等学校、就労支援センターの生徒たちの職場体験を受け入れています！  
子どもたちは、みんな一生懸命に取り組んでくれます。将来の就職選択の一助になれば！



**子どもたちにも「地域で頑張る企業」のことを伝えたい！**

#### ◎皆川社長から先生方へ

地域には、市場の表に出ない「縁の下の力持ち」企業がいっぱいあります。「世の中に役に立ちたい」と一生懸命、事業活動を行っています。

子ども、親御さんや先生方にも、地域のそうした企業のことをもっと良く知ってもらいたい。職場体験や企業見学など、出来る限り対応しますので、ご希望があれば連絡ください。

(URL) <http://shopura.jp/> (連絡先) 04-7145-6111



## 地域で頑張る企業紹介 (VOL.3)

県商工労働部では、中小企業の魅力や地域における活動内容を教育現場に伝えていくため、本ニュースなどを活用して、地域に根付いた中小企業の取組などを随時、紹介しています。

第三弾となる今回は、日本のソーセージの父“大木市蔵(いちぞう)”のレシピを元にしたソーセージを復刻して町おこしに取り組んでいる「横芝光町商工会青年部」を紹介します。

### 取組内容

#### ○日本の食肉加工業界のレジェンド「大木市蔵」

明治28年、横芝光町に誕生した大木市蔵はドイツ人職人にソーセージ作りを学びました。大正6年、品評会に我が国初のソーセージを出品、その後全国各地で技術指導にあたり、日本の食肉加工技術の発展に尽力しました。



#### ○横芝光町発！大木式ソーセージ復刻プロジェクト

横芝光町商工会青年部では、市蔵の功績を伝えようと大木市蔵WEB記念館を開設。(是非のぞいてみて下さい！)

また、大木市蔵のレシピを元にした大木式ソーセージを開発し、「ひかり直売所」で販売を始めました。町営の食肉センターがある横芝光町では、おいしいソーセージの製造に欠かせない新鮮な豚肉が手に入るため、化学調味料に頼らず、お肉本来の味を引き出した商品に仕上げています。



#### ○地域食材を活用したことも たちへの食育の取り組み

地元小学校などで横芝光町商工会青年部員がソーセージ作り体験教室を開催し、好評を博しました！



国産ソーセージが初めて品評会に出品された11/1を「ソーセージの日」として登録しました！



### 横芝光の先人の功績を子どもたちに伝えたい！

#### ◎横芝光町商工会から先生方へ

子ども、親御さん、先生方にも「ソーセージによる町おこし」の取組を是非知ってほしいです。横芝光町内でのソーセージ作り体験教室の開催、給食への提供など出来る限り対応しますので、ご希望があればご連絡ください。

(URL) <http://yokoshibahikari.jp/> (電話) 0479-82-0434



青年部長  
土屋さん  
(株)土屋  
代表取締役

経営指導員  
伊藤さん

## 地域で頑張る企業紹介 (VOL.4)

県商工労働部では、中小企業の魅力や地域における活動内容を教育現場に伝えていくため、本ニュースなどを活用して、地域に根付いた中小企業の取組などを随時、紹介しています。  
第四弾となる今回は、庭の設計・施工・管理を手がけている八街市の造園会社「作庭舎（さくていしゃ）」を紹介します。

### 取組内容

#### ○作庭舎会長・門倉光正さん略歴

- ・ 1947年船橋市生まれ。大学卒業後、東京で営業の仕事につくが、数字（ノルマ）ばかりを追いかける日々疑問を感じ転職を決意。趣味であった京都観光で庭園の美しさに感動した経験から、作庭家を志す。旧芝山高等技術専門学校造園科で1年間勉強した後、習志野市の造園会社に弟子入り。3年間修業し、1983年に作庭舎を起す。

- ・ 個人宅の庭以外にも、千葉公園にある茶室「好日亭」の庭の施工等にも携わっている。

- ≪受賞歴≫ 1995年第12回全国都市緑化ちばフェア「優良賞」  
2007年第24回全国都市緑化ふなばしフェア「銀賞」等
- ≪雑誌掲載≫ 「庭」1990年1月号、9月号など複数掲載
- ≪美術展等への参加≫ 我孫子市国際野外美術展（毎年）、芝山国際野外アート展等



全国都市緑化ふなばしフェア銀賞作品「秋風」

庭づくりのベースとなる知識は高等技術専門校で身につけられます。

その後現場で修行する中で、樹形を保つため、また下から見上げたときに切り口が気にならないためにはどの枝を切ったらいいか、等のコツを一つ一つ学んでいきます。



#### ○教育への取り組み

佐倉東小学校で出張講演を行い、子供たちにシュロ縄の結び方を教えました。この結び方なら、風雨にさらされても10年以上緩みません！



### 庭づくりの仕事の魅力を子どもたちに伝えたい！



#### ◎門倉さんから先生方へ

庭づくりの仕事は一人前になるまでに10年かかり、とても忍耐がいる仕事です。しかし、お客様と作り上げた“作品”は自分にしかつくれないものであり、お褒め頂いたときの喜びは格別です。また、庭は生きていますので作ったら終わりではなく、愛情を込めて手入れをすると、次々に違う姿を見られるのもこの仕事の魅力です。庭は生活の一部となって、お客様の人生を豊かにします。そんな庭づくりに興味をもってくれる子どもが増えるよう、講師派遣・職場見学など喜んでお受けします。内容も先生方のご提案に出来る限り対応したいと思いますので、お気軽にご相談ください！

作庭舎（住所）八街市八街は-17-151

（電話）090-3336-8743 （Eメール）[niwaya@muse.ocn.ne.jp](mailto:niwaya@muse.ocn.ne.jp)



## 地域で頑張る企業紹介 (VOL.5)

県商工労働部では、中小企業の魅力や地域における活動内容を教育現場に伝えていくため、本ニュースなどを活用して、地域に根付いた中小企業の取組などを随時、紹介しています。

第五弾となる今回は、地元の小学校等の職場見学を積極的に受け入れている老舗の神輿製造会社「(有)中台製作所」を紹介します。

### 取組内容

#### ○中台製作所がつくるもの

江戸時代に創業し、100年以上神輿を作っています。

(毎年2～3基の神輿を製作、25～30基を修理)

1基の神輿を作るのに約8カ月かかります。



木地・彫刻・漆塗り・金箔押しなど、各工程専門の職人さんが作業をしています。どのような作業をすれば次の職人さんがやりやすいか考えながら作業をしています。

1人前になるまで5～10年かかるそうです！

行徳は神輿の町

行徳の神輿作りは明治後期～昭和にかけて非常に盛んに行われ、神輿総数の約8割が行徳で作られていたとも言われています。



#### ○子どもたちの職場見学受入れ

市川市内の小中学校から兵庫県の中学校まで！多くの職場見学を受け入れてきました。



「おみこしを作るのに8ヶ月以上かかるなんてびっくりした。」

「とても重くて持てなかった。大人になったらかつぎたい。」

などの感想が聞かれました。

お祭りに参加するきっかけになった子もいるようです。



#### ◎中台製作所 中 董 洋社長から先生方へ

木は同じ木でも、北側・南側等向きによって木目が異なりそれぞれ特徴があります。これは木心(通称)といい、神輿を造るときには、その木心を理解し特徴を活かせるような部分に使用する事を特に心がけています。

子どもたちも同じで、一人ひとり得意なこと、好きなことは違うはず。人生の先輩として、神輿造りを通して、子どもたちが自分らしく生き抜くためのヒントを与えられたら…と思っています。企業見学・出張講演など出来る限り対応したいと思いますので、ご連絡ください！

(有)中台製作所 (住所)千葉県市川市本塩 21-3 (電話)047-357-2061

(Eメール)[info@mikoshiya.com](mailto:info@mikoshiya.com) (HP)<http://www.mikoshiya.com/>

## 地域で頑張る企業紹介 (VOL.6)

県商工労働部では、中小企業の魅力や地域における活動内容を教育現場に伝えていくため、本ニュースなどを活用して、地域に根付いた中小企業の取組などを随時、紹介しています。

第六弾となる今回は、ベンチャー企業「(株)アールワン・プロフェッショナル」と、「若手経営者ネットワーク スマイルかまがや」が共催している高校生の起業体験プログラム「高校生・夢マルシェ(鎌ヶ谷クラス)」について紹介します。

### 取組内容

#### ○やりたいことを見つける起業体験！

##### 「高校生・夢マルシェ」

「高校生・夢マルシェ」とは、高校生が実現させたいと考えたお店を、ベンチャー起業家が支援しながら出店に結び付けていくワークショップ

プログラムです。



発起人・事務局  
(株)アールワン・プロフェッショナル  
渡辺代表取締役

#### ○鎌ヶ谷市を拠点に活動するものづくり企業連盟

高校生たちに地域のものづくり企業の技術を知ってほしい！若い世代の育成に貢献したい！

「若手経営者ネットワーク スマイルかまがや」に参加している  
(有)岩井製作所  
岩井社長



協力

「高校生・夢マルシェ」  
鎌ヶ谷クラス発足！

#### ○鎌ヶ谷クラス4日目にお邪魔しました！ “工場見学・試作品開発”

鎌ヶ谷クラスには東葛地域の工業高校に通う高校生7名が参加しています。自動車整備士になると決めている生徒もいれば、就きたい職業はまだわからないけれど、色々な活動に参加して自分がやりたいことを見つけたいという生徒も。皆ものづくりが大好きな様子でした。

秋に開催される鎌ヶ谷産業フェスティバルでのブース出展に向けて、ものづくり企業連盟「スマイルかまがや」の皆さんから技術支援を受けながら事業構想を練っているところです。

##### プログラム① (有)岩井製作所 工場見学

歯科・医療分野で使われるネジなどの極小部品を製造している工場を見学しました。実際に稼働する工場を見学し、それぞれ新しい気づきや刺激を得たようです。



##### ネジづくり体験

ハンドルを回して金属を削り、ネジの形にしていきます。出来栄えについて、先生の評価は…  
55点！厳しい！



##### プログラム② 試作品製作

UVレジンを使ったアクセサリーの試作です。ものづくり企業から提供された端材も使って…  
どんな製品ができあがるのでしょうか！？

詳細は高校生夢マルシェ HP をご覧ください！

<http://kk-yumemarche.com/>

## 地域で頑張る企業紹介 (VOL.7)

県商工労働部では、中小企業の魅力や地域における活動内容を教育現場に伝えていくため、本ニュースなどを活用して、地域に根付いた中小企業の取組などを随時、紹介しています。

第七弾となる今回は、新聞販売店ならではのネットワークを活かし、新聞と地域を結ぶ活動に取り組んでいる白井市の「(株)エヌ・アイ・エス」を紹介します。

### 取組内容

#### ○新聞販売店が子どもたちと地域をつなぐ！「NISジュニア記者クラブ」

白井市の小・中学生から希望者を募り、「NISジュニア記者クラブ」を編成。月1～2回活動を行っています。普段の生活では体験することのできない貴重なプログラムが盛りだくさんです。

##### ①新聞社見学

朝日新聞本社を訪問し、新聞の編集作業や高速輪転機の見学を行います。

新聞ってこんな風  
作っているんだね。



##### ②スクラップ講習会、コンクール

夏休みに1週間ほどかけてスクラップ帳を作成。自分は何に興味を持っているか発見することができます。



##### ③記者体験教室

プロの野球選手やバスケットボール選手にインタビュー。



緊張するけど  
勇気を出して  
質問するぞ！

##### ④卒業制作

いよいよ集大成！テーマ選定から紙面作成まで、朝日新聞の記者からアドバイスを受けながら、自分のオリジナル新聞を作ります。

新聞折り込みで地域の人たちにも配布されます。参加した子どもたちには授業で積極的に手を挙げるようになったり、作文能力が上がるなどの効果が見られました。



2015年日本新聞協会「地域貢献大賞」受賞！

#### ◎代表取締役 能登さんから先生方へ

新聞は「社会への興味・関心」「観察力」「自分で調べ、まとめ、発信する力」を育みます。それはまさに生きる力です。プロ野球選手を前に勇気を出して質問し、文章を書く中で自分がたくさんの人と関わっているということに気づき、自分の書いた文章が地域の人たちに読まれるという経験は、子どもたちの心を大きく育てます。会社としても、教育の取組を始めたことにより社員が新聞販売の仕事に誇りをもてるようになったという変化がありました。私のように学校の役に立ちたいと思っている中小企業はたくさんあるはずです。是非活用して頂きたいと思います。

(株)エヌ・アイ・エス (住所)白井市けやき台 1-3-2 (電話)047-491-5525

(Eメール)[noto@shiroi-nis.com](mailto:noto@shiroi-nis.com) (HP)<http://www.shiroi-nis.com>



## 地域で頑張る企業紹介 (VOL.8)

県商工労働部では、中小企業の魅力や地域における活動内容を教育現場に伝えていくため、本ニュースなどを活用して、地域に根付いた中小企業の取組などを随時、紹介しています。

第八弾となる今回は、毎年地域の小・中学生の職場体験を受け入れている「南流山 金寿司」を紹介します。

### 取組内容

#### ○地元密着のお寿司屋さん

「金寿司」は創業36年。伝統的なお寿司だけでなく、二代目が作る創作料理も楽しめるお店です。8年に渡って小・中学生の職場体験を受け入れている金寿司。どのような職場体験を行っているのでしょうか？



#### ○朝の掃除、接客など一連のお仕事を体験



一人前になるためには、洗いものをしながらでも目線は先輩の仕事を観察。仕事を見て覚えていくことが大切！



突然外国人のお客さんに接客！でもすごく上手にできました。

カウンターのお客さん同士を繋げることも大事な仕事。

お寿司屋さんは交流の場でもあります。始めは緊張していた子も、2日目にはお客さんと楽しく会話ができるようになりました。

まかない作り。盛り付け方で2,500円分のネタが3,000円にも2,000円にも見えます。



#### ○職場体験で伝えたいこと

人材は「人在」にも「人罪」にも「人財」にもなり得る。「人財」を目指してほしい。どうしたら少ない水で洗いものが出来るか考える、作業が終わりそうなときに次の作業を確認し、手を止める時間を作らない。少しの工夫でより多くの作業をこなすことができます。「将来自分も「人財」になりたい！」と子供たちが考えるきっかけにしてほしい。子供たちと直に対話ができる中小企業の職場体験だからこそ与えられる気づきがあると思います。



#### ◎金寿司二代目 菅野さんから先生方へ

1日の終わりには、「今日の君の働きぶりは時給400円だよ。」と時給で評価をします。あえて少なめに言うのは、お金を稼ぐということがどれだけ大変なことか知って欲しいから。子供たちを受け入れていると、「今日来た子供たちが将来自分で稼いで食べに来てくれるまでは絶対にお店を閉めるわけにはいかない。」と毎年新たな目標が出来ます。職場体験はなかなか受け入れてくれる企業が少ないようですが、周辺企業にも声をかけ、広めていきたいと思っています。今後も続けていきますので、子供たちの受入れ希望がありましたら是非ご連絡ください！

南流山 金寿司 (住所) 流山市南流山6-4-3 (電話) 04-7159-1104  
(HP) <http://www.kin-sushi.jp/>



## 地域で頑張る企業紹介 (VOL.9)

県商工労働部では、中小企業の魅力や地域における活動内容を教育現場に伝えていくため、本ニュースなどを活用して、地域に根付いた中小企業の取組などを随時、紹介しています。

第九弾となる今回は、富津市金谷の子供たちと、バリ島の子供たちの国際交流イベントを開催している「富洋観光開発株」の鈴木代表取締役を紹介します。

### 取組内容



#### 鋸山のふもとで地域おこし

鋸のような険しい稜線を持つ鋸山。江戸時代後期から採石業が営まれ、切り出された「房州石」は良質な石材として皇居の造営にも使われました。鋸山のふもと金谷で様々な地域おこしの取組を行っているのが富洋観光開発株の代表、鈴木さんです。

#### バリの子供たちとの国際交流

鈴木さんが発起人となって2013年から始まった、金谷の人たちとバリ島の子供たちの交流イベント「バリ金谷国際ナショナルアートウィーク」。地元金谷小学校の子供たちも書道やダンスと一緒に楽しめます。



鋸山ハイキングの途中で日本寺の大仏を見つけたバリの子供たち。座り込み、お祈りを始めました。

#### バリの子供たちから学ぶこと

バリ島は神々の島と呼ばれ、信仰心が厚いバリの人たちは毎日のお祈りや地域のお祭りをとても大切にしています。バリの子供たちと交流することによって自分たちの国の文化を再認識し、金谷の子供たちにも地域や自然、ご先祖様を大切にすることをほしいと鈴木さんはお話されていました。



#### ◎代表取締役 鈴木さんから先生方へ

少子化で地元の金谷小学校も存続が危ぶまれています。小学校が無くなると、地域のコミュニティも大きく低下してしまいます。何とかして金谷に子供を増やしたい！という想いで地域おこしの取組をしています。

地域が元気になるためには、地元の人たちが生まれ育った地域に誇りや愛着心を持つことが絶対に必要です。そして子供たちの人間形成に大きな影響を与える先生方にも、地域のことを知ってほしいと思っています。

連携してくれるパートナーは地域にたくさんいるはずですよ。喜んで協力しますので、一緒に子供たちを、地域を、元気にしましょう！

富洋観光開発株式会社

(住所)富津市金谷2288 (電話)0439-69-2161 (HP)<http://thefish.co.jp/>

## 地域で頑張る企業紹介 (VOL.10)

県商工労働部では、中小企業の魅力や地域における活動内容を教育現場に伝えていくため、本ニュースなどを活用して、地域に根付いた中小企業の取組などを随時、紹介しています。  
第十弾となる今回は、千葉市若葉区の建築設計事務所「株式会社 CMS」を紹介します。

### 取組内容

#### CMSってどんな会社？



道路・下水道等土木インフラの設計や、事務所・倉庫等建物の設計を行っている会社です。社長の細矢さんは、小学生のときにある映画を観て「建設業ってカッコいい！」と思い、建設業界で働くために工業高校へ進学。建設会社・設計事務所を経て、平成16年にCMSを設立しました。

#### 商業高校の授業に協力！

##### 企業のホームページを作るという授業

に協力しました。生徒たちに、「初めてホームページを見た人にもCMSがどんな会社か伝わるものにしたい。あとは自由に！」と要望を1つだけ伝えた細矢社長。わずかなヒントから生徒たちが考えたのは「設計事務所の仕事ってなに？」から始まる質問形式のホームページ。生徒たちの視点の面白さと柔軟な発想力に感嘆させられる素晴らしい内容でした。



#### 就社ではなく就職をするためには



自分たちの頭で考え見事に課題をクリアした生徒たち。しかし進路について聞いてみると、「将来何がしたいかわからないし、とりあえず進学」という子もいました。もちろん学ぶことは大切だけれど、子供たちが職業について考える機会を持ち、「こんな仕事をしたいからこの勉強をするんだ」という気持ちで学ぶことも大事なのでは？」と細矢社長。そのような意識を育てるために、企業としても微力ながら教育に協力していきたいとお話されていました。

### 夢を持ち、仕事をする喜びを子供たちに伝えたい！

#### ◎代表取締役 細矢さんから先生方へ

先生方と同じように、私たち地域の中小企業も子供たちに輝いてほしいという気持ちを持っています。将来の仕事についてしっかり自分の意見を持ち、オンリーワンのキャリアを築いていくためには、様々な現場で働く大人たちに接する機会が必要だと思います。是非私たちの力を使ってください！学校での出張講演など、喜んでお受けします。 株式会社 CMS

(住所) 千葉市若葉区西都賀3-3-17 (電話) 043-309-4651

(HP) <http://www.cms-design.co.jp/index.html>



発行 千葉県商工労働部 経済政策課 政策室  
〒260-8667 千葉市中央区市場町 1-1  
TEL : 043-223-2769 FAX : 043-222-0447  
E-mail : [keisei11@mz.pref.chiba.lg.jp](mailto:keisei11@mz.pref.chiba.lg.jp)

